

# たんぽぽだより

2024年 3月号



今年度も残り1カ月となりました。年末には、インフルエンザ感染が広がり、保護者の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。お休みや時短保育にご協力いただき感謝しています。

この一年間たんぽぽの保育にご協力いただき 感謝しています。  
各クラスの1年間の成長を見てください。

## 3月の目標

一年の思い出を振り返り成長を分かち合う

つぼみ組(0歳児)目標：季節の変化を感じ、春の自然を見つけながら

### お散歩や戸外遊びを楽しむ

入園してしばらくは、大好きなお母さんと初めて離れる不安で、涙🥹 お母さんを思い出せば、涙・涙🥹の子ども達でしたが、今ではたくましく成長し笑顔で「行ってきます」「行ってらっしゃい」ができるようになりました。

ハイハイや、歩き始めたばかりで歩くのも、危なっかしかったのが、自分で出来る事も増え 登園すると、自分のおきがえをセットし友達と仲良く遊ぶ姿も見られます。

音楽がかかるとリズムに乗って身体を動かし可愛く 意思表示もしっかり行い 日々の成長が嬉しく感動の一年を過ごさせてもらいました。

3月も沢山思い出を作りたいと思います。

### 園長より

つぼみの時代は真っ白なすべて依存している状態からの出発です。そこから様々な経験を通して成長していく一番初めの大事な根っこ・基礎のまた基礎の時代です。人の一生の中で最もたくさんの事を吸収し、成長しているつぼみ世代の子ども達には、愛情いっぱい目をかけ、言葉をかけ、手をかけられることで、その後どんな人生を歩んでいくかが決まってくるといっても過言ではありません。

もも組(1歳児)目標：身の回りな事を自分でする喜びを感じる。

保育者や友達と一緒に戸外でたくさん遊び、春の自然に親しむ。

4月、歩けなかったお友達も9月にはみんなでお散歩に行けるようになりました。園庭の滑り台にも挑戦！最初は小さい方だったのが、大きな滑り台も滑れるようになり、つり橋を怖がっていたお友達も涼しくなるころには渡れるようになり、つり橋を渡って大きな滑り台を楽しんでいました。今ではゆり組さんの力を借りて、早岐駅まで電車を見に行ったり、公園でかけっこしたり・・・転んでも自分で立ち上がりたくましい姿も見せてくれます。またお友達を「〇〇ちゃん大丈夫？」と心配したり「先生眠たい・・・」と自分の気持ちを言葉で表現できるようになりました。時々、おもちゃや絵本を取り合っている姿も見られますが、仲良く遊んでいる時もありそんな姿を見てとても癒されています。

3月は 1年間を振り返り子ども達の個々の成長や それぞれの達成感を認めたり喜び共感し 充実ある時間を過ごせるようにしていきます。

#### 園長より

この時期の「いやいや」や「自分で」「だっこして」は、成長にとって必要なことなんです。自分が周りに「受け入れられているか」を確認している時期なのです。

**十分に甘える**事が必要なので、わがままと捉えず、しっかり話を聞いてください。ただし**子どもの言うとおりにして**、すべて叶えてあげる必要はありません。共感して受け入れるとは、子どもがどう感じて、どうしてほしいのかを①聞いて②その内容や思いを言葉で返してあげてから、③出来る出来ないを話して理由もちゃんと説明していく事です。それで**一人の人として尊重される**のです。さらに言葉の獲得も出来ます。その場合、出来る出来ないの基準をはっきりと決めておくことが大事です。

#### 新年度説明会 3月23日(土)

もも組(1歳児) 9:30~10:30  
つぼみ組(0歳児) 10:45~11:45  
ゆり組(2歳児) 10:45~11:45  
令和6年度の新しい担任と話をして頂きます。教材についてや、注意事項など話があります。参加をお願いします。駐車場の利用をお知らせください。

ゆり組さんは次のページです



### 子どもにチョコレートはNG?

チョコレートについて、「食べるのは何歳から」「子どもは食べてはだめ」といった明確な基準はありません。でも、消化器官が未発達な乳幼児に砂糖を多く含む食品は負担が大きいもの。できれば避けたいほうがいいでしょう。特に味の濃い板チョコを食べるのは、3歳以降を目安にしましょう。

1~2歳は、ココア入りのお菓子や、クッキーやケーキに載っている程度の少量のチョコレートに留めておきましょう。

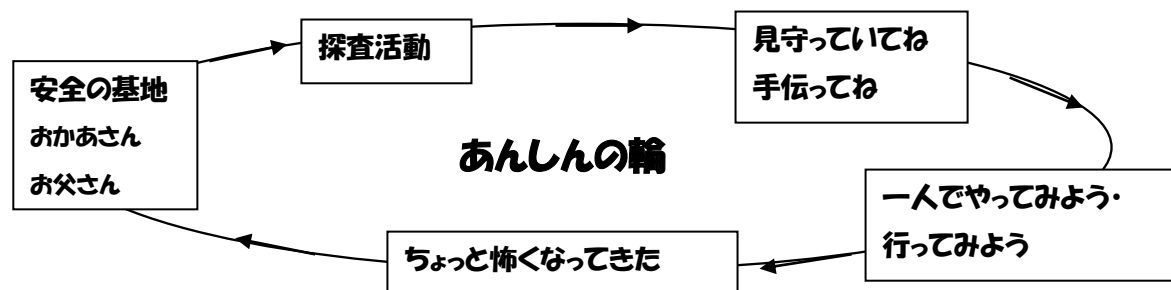
ゆり組(2歳児)目標：春の訪れを感じ戸外でのびのびと身体を動かす事を楽しむ。

進級することに期待を持ち身の周りのことを事を進んでしようとする。

お散歩が大好きな子ども達は、毎日のお散歩中 梅の花や たんぽぽ きんかんを見つけては嬉しそうに知らせてくれます。季節の変化に敏感でお散歩を楽しんでいます。「オムツが良い」「トイレには座らない」と言っていた子ども達がパンツになり、積極的にトイレに向かっています。「先生して～」「できな～い」と自分で出来なかったお着替えも一人で脱ぎ、綺麗にたたみ片付けできるようになりました。食事も自分のお皿からこぼさないように手を添えて食べています。一人遊びから友だちとおもちゃの貸し借りが出来るようになり、ブロックの組み立て方を教え合ったり思いやりの心も育っています1年を振り返ると出来る事が増え、心も身体も大きく成長し一緒に喜びあえる事が出来嬉しく思います。3月も子ども達と笑顔いっぱい楽しく過ごしていきます。

園長より

ゆり組の時期は、『あんしんの輪』の中で安全の基地⇒探索活動⇒見守っていてね、手伝ってね⇒一人でやってみよう・行ってみよう⇒ちょっと離れちゃったな⇒少し怖くなってきた⇒お母さんのところに戻ろう⇒安全の基地⇒探索活動⇒……と、この時期は安心と探索活動と自立心と恐怖心とがぐるぐる回っていく始まりの時期なのです。年齢が上がっていけば安心の輪が大きくなっていきますが、まだ3歳の時点では小さな輪ですから『自分でしたい』と『自分で出来ない(甘えたい)』が交互にやってきます。



お母さんや、保育者が子どもにとっての安全基地・避難場所として甘えてきたときには安心できるような場所・抱きしめてくれる場所になっていると、また一人で出ていく事ができるようになるのです。そうやって安心の輪は大きくなっていくのです。それが自立の第一歩です。

2月の苦情・ご提案について：特にありませんでした。

保育サロン  
たんぽぽ子